事例No.	2702
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	特定非営利活動団体日高わのわ会

事例区分	地域活性化

タグ	・福祉・介護 ・地域運営組織 ・関係人口

事例種類	地域活性化

事例内容・タイトル

特定非営利活動団体日高わのわ会

出典

令和元年度ふるさとづくり大賞事例集

団体表彰

特定非営利活動団体日高わのわ会　高知県日高村

地域経営改革　地場産品発掘・ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ化　産業振興　コミュニティ

その他（福祉の向上）

概　要

平成14年に日高村の子育て支援センターに集まるお母さんたちが、地域で何か役に立つことをと「日高村住民活動グループわのわ」を結成。平成17年には法人化。

地域の困りごとを解決していく中で、障がい者の居場所づくり、農家の手伝い、規格外で廃棄される村の特産トマト加工品づくりに取り組んできた。

現在では、それに加え日高村初の交流宿泊施設「Eat&Stay　とまとと」の運営を開始し、新しい雇用の場の創出等につながり、誰もが役割を持ち社会参加できる住民活動から地域産業として成長している。



【特定非営利活動団体日高わのわ会】

評価された点

・地域の課題解決を果たしていく中で、障がい者の居場所づくり、農家の手伝い、特産品の開発などにつながっており、様々な活動が自発的に生まれている。それが地域における新しいつながりを生み、賑わいにつながっている。これからの地域づくりにおける模範となる活動である。

・地域のお母さんたちが中心となって、廃棄にコストがかかる厄介もののトマトを活用してトマトソースを開発、モンドセレクションで金賞を受賞するほどの品質に高めたのは賞賛に値する。課題解決ビジネスによって、多様で柔軟な働く場を地域にたくさん生み出している点も高く評価したい。

・地域の女性達が地産地消や特産品であるトマトの販路拡大に成功している。他にも障がい者雇用創出、福祉サービスや教育、公共施設活用、地域活動等の地域課題に根差した活動を実施しており、連携も多岐に渡る。平成18年から取組を開始しており継続性がある。

・「働けない人」と「農家の困りごと」という２つの地域課題に対して商品開発・販売を軸に規模を拡大しながら15年間続けてこられた継続性、また、大学での学びを生かす実施者の自主性と、行政との連携性を評価する。加えて、使えるのに捨てられてしまう食品廃棄の課題解決の一助ともなっている。



【トマトを用いた加工品 】



【Eat&Stay　とまとと】